

やすナビ



議会だより

第168号

2022.2



自然薯収穫体験（安田小4年生）

令和3年12月定例会

町長行政報告	2
一般質問 1氏が問う	5
人事案件 2件	6
指定管理者の指定	8
令和3年度補正予算ほか	8

令和3年11月臨時会

契約締結変更ほか	9
----------------	---

12月8日開会。条例制定・改正、補正予算等を審議、1氏が一般質問を行い、10日に閉会した。

行政報告(概要)



黒岩町長

新型コロナウイルス感染症への対応

本町のワクチン接種状況については、5月から9月まで計8回、文化センターで集団接種を行い、医療機関での個別接種とあわせ、当初の計画どおり接種を終えることができた。

接種率については、11月30日時点で2回目接種済みの方は88%。うち、65歳以上の方は91%の実績となっている。

新型コロナウイルス感染症対策事業として、中山間

地域の振興作物である、ユズ・自然薯への対応については、9月定例会での補正予算の決議後、各部会を通じて、113人に対し支援を行っている。

国・県営事業の進捗状況

土佐国道事務所による波ブロックの設置状況については、安田川大橋の橋梁保全工事との併用工事のため、本年度は消波ブロックの製作のみとなっている。

一昨年から施工中の「明神口トンネル」については、令和4年1月末の工期内完成に向け、工事の進捗を図っており、開通は2月5日を予定している。

広域行政の推進状況

◆中芸広域連合事業◆

新型コロナウイルス接種業務は、10月末現在で全体の約85%、高齢者は約89%が2回の接種を終え、管内の接種はほぼ終了となった。今後は、新たに12歳になった方や何らかの理由で未接種の方について、中芸広域連合保健福祉課で取りまとめ、対応することとしている。

3回目の追加接種については、2回接種後の時間の経過とともに、ワクチンの有効性や免疫原性が低下することが報告されていることから、2回接種を終了した18歳以上の概ね8カ月以上が経過した方を対象に追加接種を計画しており、12月末から対象者に対し順次接種券の発送を行う。

今回の追加接種については、各町村での集団接種のみだが、これまでと同様に中芸5町村どこでも接種が

できることとなっている。また、本人の希望により、1・2回目接種したワクチンと異なるワクチンを交互接種することも可能である。

◆日本遺産の取り組み◆

日本遺産は、文化庁及び有識者組織により誘客実績や人材育成の取り組みなど

が評価され、効果が低調と判断した事例の認定を取り消す制度が導入されており、中芸の日本遺産は来年度に審査対象となるため、これまでの事業効果の検証に加え、今後の継続的、戦略的な取り組みに新たな事業計画の策定等が必要となることから、関係町村からの職



昔の明神口橋

員駐在方式による体制を改め、本町の庁舎内に事務局機能を移すとともに、地域創生課内に日本遺産推進室を設け、これらに確実に対応していくことを目的として、町課等設置条例の改正議案を本定例会に提出している。

◆広域租税債権管理機構◆

10月末現在、本町移管分として、65件197万7千3千円のうち346万3千円の実績で、徴収率17・52%となっている。

また、11月に機構、県税事務所、市町村による不動産等の合同公売会を実施し、本町が差し押さえた3件の物件は、2件の公売実績となっている。

町営事業の 推進状況

◆安田のファンづくり事業◆

町内46事業者の協力により実施している「安田deペタンゴラリー」について、

テレビやラジオCMによるPRや、各メディアの取材、SNS発信等の効果もあり、参加店舗の売り上げ増加のほか、買い物客からも大変好評を得ている。

応募期間を8月から11月末とした第一弾では、500件以上の応募があり、12月から2月末までの第二弾においても、引き続き地域経済への波及効果につながるよう、町内外に周知を図っていききたい。

◆各種事業の進捗状況◆

昨年度からの繰越事業15件のうち、キャンプ場再整備工事などの6件は完成し、残る事業についても年度内完成に向けて精力的に取り組みを進めている。

また、本年度実施の主要事業については、安田簡易水道施設整備事業、町道東坪田線道路改良工事等、各種の社会基盤整備事業や県の介護基盤整備事業補助金等を活用した旧中山小中学校校舎改修工事、文化セン

ター音響設備改修事業、園芸用ハウス整備事業をはじめとする農業振興事業、鳥獣被害軽減を促進するための鳥獣被害緊急対策事業など、事業の早期実施に努めており、一部実施に遅れの出ている事業や新型コロナウイルスにより設備の納入に影響が出ている事業等については事前対応を進め、早期実施を図っていく。

◆地域公共交通◆

11月末での町コミュニティバス「やすら号」の運行状況は、路線定期運行では、東谷線が140便で450人、東島線が140便で683人となっており、両路線とも利用者数については、堅調に推移している。

デマンド運行については、中ノ川線で順調な利用がある一方で、中里線の利用低迷が続いていることから、地域の方々と運行の維持に向けた率直な意見交換をしたいと考えている。

また、コミュニティバス

運行日以外の移動手段の確保や高知東部交通の路線バス利用促進のため、本年度から実施しているICカードを活用した路線バスの定額利用サービス「らく賃おでかけデスカ」については、11月末現在で8人が利用しており、今後も継続的に周知・広報活動を図っていき

たい。

◆旧中山小中学校の活用策◆
改修工事については、7月9日の着手以降、順調に進捗しており、現在は1・2階の内部改装工事を行っている。

また、改修後にスムーズな運営や利活用ができるよう、2階部分の「映像村」「簡易宿泊」の管理運営体制について検討しており、ま



改修中の旧中山小中学校

まり次第「活用検討委員会」に諮り意見を聞くこととしている。

◆国保の状況◆

今年4月から第2期の国保運営方針に基づき国保事業がスタートしたが、県においては、令和7年3月末までに保険料水準の統一に向けて関係団体と調整し「同じ所得水準・同じ世帯構成であれば、同じ保険料水準」を目指して、より具体的に検討を進めることとしている。

水準統一に向け取り組む内容の一つ目として「被保険者間の負担の公平性を図るための赤字繰り入れの削減・縮小」二つ目として「市町村間でばらつきがある国保税の賦課方式や応能応益割合の統一」が挙げられている。

本町は、赤字繰り入れを毎年2千万から3千万行っており、既に赤字繰り入れの解消または削減に向けて汗をかいている市町村や統

一により痛みを伴う市町村の納得を得るためにも、税収を確保し赤字の削減に取り組む必要がある。

現在、令和4年度からの税率改正に向けて賦課方式や応能応益割について方向性を検討しており、今後、国民健康保険事業の運営に関する協議会の答申を経て、来年3月の定例議会に税率改正議案を提出する考えである。

なお、国保制度や県内の国保の現状、保険料水準の統一に向けての県の取り組みなど、今後の町の国保の運営上の課題等について、議会と執行部と合同の研修会を行う機会を設けたいと考えている。

◆農業振興対策◆

担い手の育成確保対策について、本年7月から新たに研修を終え経営を開始した者が1人、農業大学等からの就農が2人、また、来年度も現在研修中の1人が就農予定、新たに1人が研

修予定となっており、担い手の育成確保が図られてきているほか、例年参加していた、県外での就農相談会はコロナウイルス感染症の影響を考慮し参加は見送ったが、先日、県内で開催された就農相談会に参加するなど、切れ目ない対策を今後も継続していく。

◆安田川アユおどる清流キャンプ場◆

4月24日のリニューアルオープン以降、順調な利用があり、書き入れ時となる8月に長雨や県道の土砂崩れの影響こそあったが、10月末で、1391組4754人と、当初計画の1年分を既に上回る実績を上げている。

教育行政の状況

◆教育一般◆

他県において下校途中の児童の列に、トラックが追突し、死傷者が出る痛まし

い事故が発生したことから、町通学路安全対策連絡協議会を当初の計画より前倒し、9月に開催した。

協議会には学校、PTA、安芸警察署、土佐国道事務所、安芸土木事務所等関係機関が集まり、意見交換と危険箇所の合同点検を実施し、今後の対応を協議検討して、情報共有と安全対策を図っている。

また、9月29日に町立園小中学校運営協議会(コミュニケーションスクール)を開催し、授業風景や学校からの取り組み状況の報告を受け意見交換を行った。保護者や地域住民が学校運営に参画することで「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」への転換を図り、地域の力による学校教育の充実を目指している。

◆町史編さん事業◆

町制施行100周年記念事業の一環である『新安田文化史』続編の町史編さん事業については、基本方針、

編さん期間、体制及びスケジュール等を策定しながら、委員長協議を重ね、専門家の候補者選考と内諾作業を進め、12月に第3回町史編さん委員会を計画している。

開かれた町政運営

町長室の開放、中山支所での執務では、11月までの8カ月で延べ31人の訪問があり、住民からの意見を聞くことができた。また、本年度より休日や夜間にも開催している。

「対話と協働」への取り組みについて、3カ月に1回本部会を開催し、各地区での取り組みや地域の課題、困りごと等について職員間で情報共有を図っている。今後も地域の抱える課題の解決に向け、職員と共に取り組んでいく。

一般質問

こころが知りたい

Q 防犯カメラを積極的に活用する考えはないか
A プライバシー保護の観点からも慎重な対応を図る



黒岩 議員

問 中山間地域の住民から防犯カメラを活用して、独居高齢者が安全で安心して生活できるような見守り体制を整えることができないか、といった声があがっている。

現在、防犯カメラやドライブレコーダー等の撮影機器の技術は向上し、犯罪や事故防止の抑止につながっている。よって、防犯カメラを町内に展開することにより、住民の安全確保につながると考える。しかしその反面、住民は常時監視されているという疑念が生じている。

る。

これらを踏まえて「防犯カメラ設置検討委員会」等を設置し、幅広く住民の意見を聞いたうえで、住民の安全・安心を向上させるため、町施策として防犯カメラ設置に向けた取り組みを行っていく考えはないか。



手島 総務課長

答 本町では現在、児童生徒の見守りとして通学路の県道及び町道沿いの3カ所に「子ども見守りカメラ」を設置し、管理規程を定め適切な運用を行っている。また、役場周辺の施設管

理として、庁舎屋外に防犯カメラを3台設置しているほか、本年度は新たにごめん・なはり線唐浜駅と安田川アユおどる清流キャンプ場に場内の監視とあわせ、周辺道路の交通状況も確認できる場所に設置することとしており、現状では子どもと人が多く集まる施設の管理・防犯を優先して設置を行っている。

住民の安全・安心を向上させるため、集落や主要道路への設置に向けた取り組みについては、地域における犯罪の抑止力や地域住民の見守りにつながる効果も期待されるが、地域住民のプライバシーにも十分配慮しながら進める必要がある。

住民の安全・安心を守るものが行政の重要な役割であり、集落内などへの設置を検討する際には、地域住民の意向も確認しながら、より多くの意見をもらうなど、慎重な対応を図ってきたい。



清岡 教育次長

答 防犯カメラ設置検討委員会については、教育委員会では通学路安全対策連絡協議会で関係機関が集まり、通学路や子どもたちの安全について情報交換等の協議を行っているっており、必要に応じて「子ども見守りカメラ」についても協議をしている。

また、場所の選定にあたっては、協議会等での意見を基に、県警の担当者にも現場を見てもらい選定をしている。

プライバシー保護については、管理



見守りカメラ（文化センター西側）

規程の中で、記録画像が利用できるのは、法令に基づく請求があった場合、捜査機関から犯罪捜査の目的による要請を受けた場合、個人の生命・身体または財産の安全を守るため、緊急かつ、やむを得ないと認める場合の3点とカメラを設置する町、安芸警察署双方の合意が必要であるとしており、プライバシー等に配慮した内容である。

人 事

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求める件◆

内 容

人権擁護委員法の規定により、法務大臣から委嘱されている本町の人権擁護委員2人のうち、1人の任期が令和4年3月31日で満了となることから委員候補を選任し、推薦するため、議会の意見を求めるもの。



中島 公司 氏
(東島)

審議結果…全員賛成(適任)

◆町教育委員会委員の任命同意◆

内 容

町教育委員会委員4人のうち、1人の任期が令和3年12月24日で満了となるこ

とから、引き続き現委員を任命するもの。



三谷 克彦 氏
(小川)

審議結果…全員賛成(同意)

◆安田町課等設置条例等の一部を改正する条例制定◆

内 容

日本遺産に関する取り組みについて、今後予定されている再認定審査事務等や、さらなる5町村の連携を図ることを目的に、地域創生課内に「日本遺産推進室」を設置するため、安田町課等設置条例等の一部を改正するもの。

質 疑

問 安田町に日本遺産推進室を置くことについて、黒岩町長の会長任期が終われ

ばどのようなものか。

答 いままで会長を務めるかについては、日本遺産には熱い思いを持って取り組んでおり、今後も立候補してでも、町長任期がある限り続けていきたいと思っている。

問 安田町が主管を持つこととなるが、他の4町村は日本遺産推進に対し共通の認識か。

答 旧態依然の体質では、中芸5町村の振興発展や活性化は図れないと考えている。

そこで、本町への推進室設置にあたっては、4町村の首長に対応を図る趣旨と思いを伝え「5町村が意識を共有して取り組んでいく」といった回答が得られたので、推進室設置を決断した。

問 地域創生課内へ推進室を置くことにより業務増となるが、人員配置等は考えているか。

答 推進室を設置することにより、職員の負担は当然

あると考えている。その中で専属する職員を推進室に1人配置することにより、地域創生課の業務に変わりはない。

全体的には56人の職員が55人となり負担が生じる課が出てくると思うが、職員の採用も行っており、できるだけ全ての課において支

障が出ないように対応をとっている。また、担当課長には負担が掛かるが、日本遺産を推進していく重要性や思いを伝え理解を得て、今回の推進室の設置に至っている。

審議結果…全員賛成(可決)



日本遺産推進室が設置される地域創生課

◆安田町地方創生推進基金
条例の制定◆◆安田町ふるさと応援基金
条例の制定◆◆安田町高齢者福祉基金条
例の制定◆

内 容

特定目的基金について、財源として硬直化し活用に至っていない4基金及び管理が複雑化している1基金を統合・再編し3つの基金条例を制定するもの。

質 疑

問 町の財政運営を行う中で、基金の運用は重要な役割と位置を占めている。今後における基金の主要と取り扱いについて問う。

答 国は、社会保障関係やコロナ対策で非常に厳しい財政状況の一方、地方自治体が特定の目的に沿って設置している基金が積み上がりの傾向にあり、財務省から指摘されることもある。自治体は厳しい財政運営の中、多様化する行政サービ

スの水準を維持するために基金を活用することが重要となる。

今回、統廃合する基金は、多様化する行政サービスの变化によって、設置当初の目的から硬直化し、使われていない基金を有効活用できるような統廃合することとした。

基金の運用は、従前どおり目的に沿って不足する財源の補てんとするが、基金は最後の砦として位置付け、財政健全化を念頭に置き、まずは有利な補助事業等を活用し財源確保に努めたい。積み立てについては、国からの指摘もあるが、今日までそれぞれ実施してきた事業の公債費や、今後の事業展開等を考えれば、当然継続して積み立てていかなくはならない。

審議結果…

3件とも全員賛成(可決)

◆安田町国民健康保険条例
の一部改正◆

内 容

出産育児一時金の支給額に加算される産科医療補償制度掛金が、1万6千円から1万2千円に引き下げられることから、出産育児一時金を4万4千円から、4万8千円に引き上げ、総支給額42万円を維持するため、改正するもの。

審議結果…全員賛成(可決)

◆安田川アユおどる清流キャンプ場設置及び管理に関する条例の一部改正◆

内 容

令和3年4月にリニューアルオープンしたキャンプ場について、当初想定した以上にさまざまなニーズや課題が生じ、利用者の公平を期するため、追加料金の徴収ができるよう、所要の改正を行うもの。

審議結果…全員賛成(可決)



順調な集客となっているキャンプ場

指定管理者の指定

◆安田町振興作物栽培強化施設の指定管理者の指定◆

内容

前指定管理者が令和3年10月末で撤退したことを受



マンゴーハウス（唐浜）

け、次期管理者を公募した結果、1件の応募があり、指定管理者選定委員会で審議し、その結果「(株)高知リサイクルセンター代表取締役植木仁登」を指定するもの。

指定期間は、これまでの10年間から、施設の管理の

経過、作物の特殊性等から令和6年度までの3年間とし、より柔軟な対応を図っていく。

審議結果…全員賛成（可決）

契約締結変更

◆町道東西島線（東西島橋）橋梁保全工事（明許）◆

内容

耐震補強として設置する落橋防止装置の取り付けに必要なブラケットの形状を変更するため、契約金額に443万1900円追加し、変更後の契約金額を658万2千4百円とするもの。

審議結果…全員賛成（可決）

補正予算

◆令和3年度町一般会計及び簡水特別会計補正予算◆

内容

補正の主な内容

○地域公共交通整備事業積立金の追加

1690万円

○生活バス路線運行維持費補助金の追加

788万円

○中芸広域連合介護保険負担金の追加

169万円

◎一般会計（第4号）

本年度事業に係る追加を行うもの。



コミュニティバス「やすら号」

○子育て世帯臨時特別給付金(先行給付)の追加

1330万円
など

総額4880万円追加

補正後の予算総額

33億2110万円

◎簡水会計(第1号)

○前年度決算剰余金等の確定に伴う財源調整

補正後の予算総額

2億2130万円

質疑

問 子育て世帯臨時特別給付金の対象世帯数と今後の段取りは。

答 今の見込みで、150世帯・266人である。

対象者に速やかに通知し、12月24日に給付できるよう対応を図る。

審議結果…

2件とも全員賛成(可決)

意見書

◆保育所等の最低基準(職員配置・面積基準)と、保育士の処遇の抜本的な改善を求める意見書◆

趣旨説明

現在、コロナ禍でも子どもへの命と健康を守り、発達を保障する保育が行われている。感染対策により日常業務は増大し、密を避けがたい現場であることから、職員への負担は大きくなり、職員不足に拍車をかけている。

2021年度『学校基本調査』では、公立小学校の1学級は22.7人だが、4歳、5歳児の配置基準は子ども30人に保育士1人となっている。この基準は70年以上も前に設置されたもので、由々しき事態である。

国は責任をもって保育環境の改善、保育士の処遇改善を行うべきであり、以下のことを強く要望する。

一つ、保育所等の最低基準(職員配置・面積基準)と、保育士の処遇を抜本的に改善すること。

提出先 内閣総理大臣ほか

審議結果…全員賛成(可決)

第8回臨時会

令和3年11月12日開会、契約締結変更、一般会計補正予算を審議し、同日閉会した。

契約締結変更

◆旧中山小中学校改修工事◆

内容

施設の安全性、利便性を高めるため、既設間仕切り仕様を耐火壁等への変更、消火設備とあわせアスファルト舗装等の外構工事の追

加により、契約金額を3991万4600円追加し、変更後の契約金額を3億1188万7400円とするもの。

審議結果…全員賛成(可決)

補正予算

◆令和3年度町一般会計補正予算(第3号)◆

内容

当面、その執行に緊急を要する事項について、追加を行うもの。

補正の主な内容

○振興作物栽培強化施設の燃料費の追加

182万円

○マンゴー果樹購入費の追加

277万円
など

総額560万円追加

補正後の予算総額

32億7230万円

質疑

問 指定管理者からの事前説明はあったのか、また、今後の予定はどうするのか。

答 8月に従業員が退職するとの説明があった。募集を行ったが、マンゴー栽培の知識を持つ人員の確保ができず、10月19日付で10月末撤退の書類が提出された。新たな指定管理者が決まるまでの経費を、補正予算で上げている。

今後は、協定の見直しを含め、指定管理者任せではなく協議しながら展開していきたい。

審議結果…全員賛成(可決)

議会のつぎ

11月

1日 高知県戦没者追悼式

(高知市)

5日 議員協議会

8日 議会運営委員会

16日 町戦没者等追悼式

23日 県政150年記念式典・県

史編さん開始記念シンポジ

ウム (高知市)

25日 総務教育常任委員会

26日 産業厚生常任委員会

27日 第28回寧浦全国色紙展開会

式・表彰式

29日 主要地方道安田東洋・魚梁

瀬公園線整備促進期成同盟

会 高知県土木部長への要

望活動 (高知市)

30日 第3回安芸広域市町村圏事

務組合議会定例会(安芸市)

12月

2日 議員協議会

安田川分水対策委員会

3日 議会運営委員会

10日 議会広報編集委員会

21日 第5回中芸広域連合議定会

例会

23日 第3回安芸広域市町村圏特

別養護老人ホーム組合議会議

定例会 (奈半利町)

24日 第31回安田川分水連絡協協

会 (高知市)

1月

3日 成人式

7日 議員協議会

議会広報編集委員会

9日 中芸広域連合消防出初式

(田野町)

安田町火鎮祭

13日 総務大臣等との意見交換

(高知市)

14日 議員協議会

議会運営委員会

編集後記

『ソロモンの指輪』60年ほど前に出版された本で、著者は、コンラート・ローレンツ博士。ノーベル賞を受賞した生物学者である。

最終章の【12章モラルと武器】で、敵を殺すための牙も爪も持たない兎や鳩等と狼を比較している。

あるとき博士は、二種の鳩を交配しようとして失敗した。片方が殺されたからだ。「愛とやさしさの象徴たちがたがいに傷つけあうはずなんかあるものか」との思い

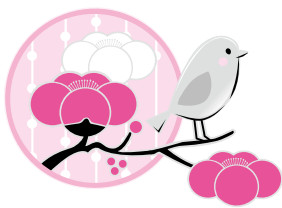
は大間違いだった。

だが狼は、敗者が勝者に対して急所の首筋を差し出すことで攻撃が止まり、殺されることはなかった。

そして人間の降伏者へのモラルは、歴史的に騎士道精神の時代にやっと出てきたと書いている。

最後に博士は問いかける「相手の陣営を瞬時にして壊滅しうる日がやってくる、その時どのように行動するのか。兎か狼か。」

(編集委員 豊永)



議会広報発行人

議長 小松 憲次

議会広報編集委員会

委員長 田之上 健太
副委員長 内川 一則
委員 豊永土佐太郎
委員 黒岩 円
委員 中島 瑞夫

各常任委員会の所管事項調査

総務教育・産業厚生両常任委員会は、このほど所管事項調査を行い、その結果を次のとおり議長に報告した。

総務教育常任委員会

開催日 令和3年11月25日

調査事項

①令和3年度総務課・地域創生課・

教育委員会的主要事業実

施状況について

②その他

経過

総務課、地域創生課、教育委員会から資料に基づき説明を受け、現地調査を行い協議の結果、次のとおりまとめを行った。

調査結果

◎中山間活性化の拠点となる集落活動センター事業について、現状把握・課題解決の取り組みを計画的に実施し、地域の活性化を図ることを。

◎学校、家庭、地域の協働

によって、よりよい学校運営が図られ、児童生徒の多様な教育ニーズに対応できる学校教育の推進を望む。



小学校視察（総務教育）

産業厚生常任委員会

開催日 令和3年11月26日

調査事項

①令和3年度経済建設課・町民生

活課の主要事業実施状況

について

②その他

経過

経済建設課、町民生活課から資料に基づき説明を受け、協議の結果、次のとおりまとめを行った。

調査結果

◎新興作物栽培強化施設の指定管理について、指定管理者制度の目的と趣旨が十分に活かされるよう適正な管理運営及び継続性が得られるものとする。

◎新型コロナウイルスワクチンの追加接種について、中芸広域連合と連携し、円滑な接種体制の確保と推進を図ることを。



コロナワクチン接種会場（文化センター）